

公益財団法人中董奨学会について

【設立目的】

当会は、創立者中島董一郎の「今日迄絶大な御愛顧を賜った消費者各位の御厚情に聊かながらお報いすると同時に幾分なりとも社会の進展に貢献し、国運の興隆に寄与致したい」との願いにより、1967年5月に設立されました。

これを踏まえ、創意工夫、勤勉努力、誠実を旨とする社会有用の人材を育成し、産業の興隆に寄与するため、優秀な学徒にして、経済的事由により困難に当面する者に対し、奨学金を支給し、その他育英上必要な業務を行うことを目的としております。

【対象となる学生】

思想堅実、健康にして、学資の支弁に困難をしている大学学部3年生または大学院1年生（修士・博士課程は問いません）を対象としています。なお、事情によっては上級学年在学中の方でも差し支えありません。採用はおひとり一回限りです。

【奨学金額】

月額30,000円。奨学金の返済は不要です。

【給与期間】

2年間もしくは正規課程の標準修業年限までの短い方となります。

【奨学生の義務】

毎月、事務局とWeb上（中董奨学会 SNS）にて近況報告等のメッセージ交換を行っていただきます。また、毎学年度末に学業成績証明書および生活環境報告書（学校を卒業される方は卒業証明書も）を提出いただきます。

【その他】

- ・他の給与奨学金と重複しないことが望ましいですが、事情によってはこの限りではありません。
- ・奨学生は卒業後、進路など当会に対し何ら義務の負担はありません。
- ・当会の規定に照らし合わせて、奨学生として相応しくないと判断された場合には、奨学金の返還等を求めることがあります。
- ・当会は一部指定校制を導入しています。

<公益財団法人中董奨学会>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-4-13 TEL: 03(3407)7111 担当: 竹村 藤田

e-mail: shogakukai@nakashima-foundation.org

HP: <http://www.nakashima-foundation.org/scholarship/>

2017年度 公益財団法人中董奨学会 願書

記入日 2017年 ×月 ×× 日

(※以外は応募者本人が黒のボールペンで、楷書で記入のこと)

本人	フリガナ	ダイガク ハジメ			写真貼付 縦 4cm 横 3cm
	氏名	大学 一			
	学校名	〇〇大学大学院			
	学部/科/研究室	〇〇学研究科 〇〇学専攻			
	学年	修士課程1年	卒業見込	〇 〇 〇 〇 年 ×月	
	生年月日	西暦 ××××年××月×日 (××才)		性別 <input checked="" type="radio"/> 男・女	
	現住所	〒×××-×××× 〇〇県〇〇市〇〇町×-××-××			
	電話番号	(自宅) ×××-×××-×××× (携帯) ×××-××××-××××			
	e-mail (携帯不可)	×××××@××××.××.××			
※保証人	氏名	大学 太郎	本人との関係	父	
			電話番号	×××-×××-××××	
	現住所	〒×××-×××× (保証人住所は本人現住所と異なる場合のみ記入して下さい。) 〇〇県〇〇郡〇〇町××-××			

【本人の経歴】 職歴等があり記入欄に収まらない場合は別紙をつけてください。

年月	経歴事項
〇 〇 〇 〇 年 ×月	〇〇県立〇〇〇 高等学校卒業
××××年×月	〇〇大学 〇〇学部 入学
××××年×月	〇〇大学 〇〇学部 卒業
××××年×月	〇〇大学大学院 〇〇学研究科 入学
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
その他特記事項 (特技・研究業績・表彰・受賞など) 〇〇〇.....	

【生計を一にする家族経済状況】(本人を除く)

就学者を除く家族	氏名	年齢	続柄	職業・勤務先・学校名		年収(税込)
	大学 太郎	54	父	株式会社〇〇製作所		510万円
	大学 花代	52	母	有限会社〇〇酒店		89万円
						万円
						万円

就学者	氏名	年齢	続柄	学校種別	学年	通学	
	大学 二三	13	妹	<input checked="" type="radio"/> 国公立・私立	<input checked="" type="radio"/> 小・中・高・専修・大学	2年	<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外
				国公立・私立	小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外
				国公立・私立	小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外
				国公立・私立	小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外

【本人の生計費の状況(1ヶ月平均)】 ※収入計と支出計は一致させること

収入の部		支出の部	
家庭から	××××円	住居費	××××円
アルバイト (具体的に 家庭教師)	××××円	光熱費	××××円
		食費	××××円
貸与奨学金名 日本学生支援機構	××××円	通学交通費	××××円
(注) 給与奨学金名 〇〇奨学財団	××××円	書籍・学用品費	××××円
受給期間××××年×月～××××年×月まで		その他 (具体的に)	円
その他(具体的に)	××××円		
収入計*	××××円	支出計*	××××円

(注) 給与奨学金は受給期間を記入し、複数財団の受給があれば各財団名・合計金額を記入してください

【年間授業料の状況】

授業料 (年間)	535,800円	授業料免除の状況	<input checked="" type="radio"/> 有*・不許可・申請せず・制度なし
		授業料免除額 <small>※有の場合</small>	<input checked="" type="radio"/> 全額・半額・その他(535,800円)
年間授業料免除申請等の状況		<input checked="" type="radio"/> 申請中・申請せず・制度なし	

【他奨学団体への応募状況】 記入欄に収まらない場合は別紙をつけてください。

応募件数	3件 (給与: 3件、貸与: 件)
応募先全て記入	〇&〇奨学財団・□□奨学会・〇〇育英奨学金

<中董奨学会奨学生願書の記入について>

- (1) 願書の記入は自筆にてご記入ください。
- (2) 「保証人」欄は必ず保証人本人の自筆にてご記入ください。
- (3) 【生計を一にする家族経済状況】は次のことに注意してください。
 - a) 1人2種類以上(給与収入、事業収入等)の収入がある場合は合計した金額を記入する。
 - b) 年収(税込)とは平成28年1月～平成28年12月までの1ヵ年給料・賃金・役員報酬・賞与・年金(恩給・老齢年金・遺族年金等)扶養費・傷病手当金および専従者給与の年間総収入のことです。生計が別のご家族の方は年収(税込)の記入は必要ありません。
- (4) 【本人の生計費の状況(1ヶ月平均)】親と同居の場合、住居費・光熱費・食費などは0円となりますが、申請者本人が負担している場合は記入してください。
奨学金収入がある場合は貸与・給与を分けて記入し、給与奨学金は受給期間も記入してください。また複数財団からの受給があれば各財団名と合計金額を記入してください。

<応募書類>

- (1) 公益財団法人中董奨学会 願書
- (2) ご自身について
- (3) 指導教官推薦書
- (4) 学業成績証明書(学校書式、直近のもの)
- (5) 在学証明書(学校書式)

2017年度 公益財団法人中董奨学会 願書

記入日 2017年 月 日

(※以外は応募者本人が黒のボールペンで、楷書で記入のこと)

本人	フリガナ				写真貼付 縦 4 cm 横 3 cm
	氏名				
	学校名				
	学部/科/研究室				
	学年		卒業見込	齎	年 月
	生年月日	西暦	年 月 日 (才)	性別	男・女
	現住所	〒			
	電話番号	(自宅)			(携帯)
	e-mail (携帯不可)				
※保証人	氏名	本人との関係			
		電話番号			
	現住所	〒 (保証人住所は本人現住所と異なる場合のみ記入して下さい。)			

【本人の経歴】 職歴等があり記入欄に収まらない場合は別紙をつけてください。

年月	経歴事項
齎 年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
その他特記事項 (特技・研究業績・表彰・受賞など)	

【生計を一にする家族経済状況】 (本人を除く)

就学者を除く家族	氏名	年齢	続柄	職業・勤務先・学校名	年収(税込)	
					万円	
					万円	
					万円	
					万円	
就学者	氏名	年齢	続柄	学校種別	学年	通学
				国公立・私立 小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外
				国公立・私立 小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外
				国公立・私立 小・中・高・専修・大学	年	自宅・自宅外

【本人の生計費の状況(1ヶ月平均)】 ※収入計と支出計は一致させること

収入の部		支出の部	
家庭から	円	住居費	円
アルバイト (具体的に)	円	光熱費	円
		食費	円
貸与奨学金名	円	通学交通費	円
(注) 給与奨学金名	円	書籍・学用品費	円
受給期間 年月～年月まで		その他	円
その他(具体的に)	円	(具体的に)	円
収入計*	円	支出計*	円

(注) 給与奨学金は受給期間を記入し、複数財団の受給があれば各財団名・合計金額を記入してください

【年間授業料の状況】

授業料 (年間)	円	授業料免除の状況	有*・不許可・申請せず・制度なし
		授業料免除額 <small>※有の場合</small>	全額・半額・その他(円)
年間授業料免除申請等の状況		申請中・申請せず・制度なし	

【他奨学団体への応募状況】 記入欄に収まらない場合は別紙をつけてください。

応募件数	件 (給与: 件、貸与: 件)
応募先を全て記入	

<中董奨学会奨学生願書の記入について>

- (1) 願書の記入は自筆にてご記入ください。
- (2) 「保証人」欄は必ず保証人本人の自筆にてご記入ください。
- (3) 【生計を一にする家族経済状況】は次のことに注意してください。
 - a) 1人2種類以上(給与収入、事業収入等)の収入がある場合は合計した金額を記入する。
 - b) 年収(税込)とは平成28年1月～平成28年12月までの1ヵ年給料・賃金・役員報酬・賞与・年金(恩給・老齢年金・遺族年金等)扶養費・傷病手当金および専従者給与の年間総収入のことです。生計が別のご家族の方は年収(税込)の記入は必要ありません。
- (4) 【本人の生計費の状況(1ヶ月平均)】親と同居の場合、住居費・光熱費・食費などは0円となりますが、申請者本人が負担している場合は記入してください。
奨学金収入がある場合は貸与・給与を分けて記入し、給与奨学金は受給期間も記入してください。また複数財団からの受給があれば各財団名と合計金額を記入してください。

<応募書類>

- (1) 公益財団法人中董奨学会 願書
- (2) ご自身について
- (3) 指導教官推薦書
- (4) 学業成績証明書(学校書式、直近のもの)
- (5) 在学証明書(学校書式)

【ご自身について】

1. 奨学金を必要とする理由(経済的事情やその他特に説明を要することを記入して下さい。)

2. 選考にあたり知っておいてもらいたい事項(今後の目標、将来の夢などについて記入して下さい。)

西暦 年 月 日

学校・学部名：

氏 名：

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____														
	学籍番号											性別	男・女	現住所	〒	TEL ()
	フリガナ															
	氏 名											家族住所	〒	TEL ()		
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額							
		父				年		万円	万円							
		母					年		万円	万円						
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 ()														
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 ()														
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
						年		万円	万円							
	家 計 支 持 者 に ○ 印	別 居 者 に × 印	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設 置 者 別	学 校 種 別	通 学 別	控 除 額						
本人					筑波大学	国 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円							
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円							
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円							
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円							
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無													
	障害者がいる世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()											
	その他															
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定									
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()				総収入金額	①	万円							
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()				必要経費	②	万円							
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()				特別控除額	③	万円							
	その他の収入		月額 (千円) 内容 ()				総所得金額	④=①-②-③			万円					
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人					
		大学 (院)	A	-	B	C	-		⑤	万円						
	修得単位数または科目数									家計充足率	⑥=④÷⑤×100					

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。